

類については、1989年に女性会員の入会が認められ、2001年にはロータリークラブ創立時の一業種一会員制の原則が、同一職業分類の会員は5名以内、または51名以上のクラブはその10%までとなり、2019年には職業分類の制限が廃止をされました。その他、Eクラブやリモートによる例会など、会員の減少から新会員が入会しやすいように変化しているように感じます。我がクラブも沼津北ロータリークラブの伝統を守りつつ新しい変化に対応していくことが必要だと思います。その様な中で、副会長として何が出来るか分かりませんが、兎に角一生懸命勉強をしていきたいと思っています。

『ロータリークラブはどんな団体ですか?』と聞かれた時、13年も在籍しているにもかかわらず明確に答える自信がありません。ただ、私にとってのロータリークラブは、他業種の方々と毎週火曜日の例会で食事をして、卓話、2ヶ月に1回のテーブル会、奉仕活動や年間の行事を通して様々な考え方を持った方たちと、親睦を深める事によって自分自身を成長させる会だと思っています。

入会した当初は、知人もおらず、何もわからない状態で飛び込んでしまった為、例会はただただ辛い時間でしたが、出席し続けると知人ができ、仲間ができ、辛かった時間は楽しい時間になり、仲間のおかげで自分自身もこの13年間で成長できたと思います。

これから菊地会長のクラブテーマ『想像しよう 一人ひとり』の下で、会長見習いとして励んでいきたいと思えます。皆様、1年間ご協力宜しくお願いします。

\*\*\*\*\*

### 幹事 内野 聡

今年度菊地会長のもと一年間幹事をお預かりします内野聡です、よろしくお願いをいたします。



皆様の承認をいただきクラブに入会したのは2014年5月27日ですので、在籍9年目となります。ここ数年で、SAA、親睦・出席委員長を経験いたしました。クラブに入会してから大変うれしかったことが二つありまして、一つは先般本社移転した際に皆様から多くの祝意をいただいたことです。そしてもう一つが持病による一年間ほどの休会からクラブ復帰時にたくさんの励ましや応援を頂戴し、あたたかく迎え入れて頂いたことです。土屋さん、高橋さん、馬場さんと先輩幹

事を拝見して能力的に私が務まるのだろうかと心配になりましたが、尊敬する菊地会長の期待に微力ながら何とか応えたい、クラブと皆様に少しでも恩返しができるかと考えました。

3月のリモートPETS、4月のリモート地区研修・協議会、クラブ内次年度委員長会議、5月に静岡第2グループ会長幹事会と参加をし、幹事の仕事は新年度7月の随分前から始まっているんだと再認識をいたしました。

菊地会長の設定された今年度クラブテーマは「想像しよう 一人ひとりが」です。本日のように例会が通常通り開催されることは大変ありがたいことですが、またいつか休会せざるを得ない局面が発生してしまうこともあるかもしれません。自然災害などによって特定地域のクラブが休会を余儀なくされることは今までもありました。しかしながら本コロナ禍のように、日本全国のみならず世界中のクラブに同時に影響を及ぼす事象が起きるなど、ほんの数年前、通常に例会が開催され、定期的にテーブル会が開催されていた際は想像もできませんでした。

今年度浅原ガバナー地区方針に「ロータリー活動を再開しよう」とあります。当クラブにおいても中止が続いていた柿田川清掃、前年度影島会長・土屋幹事に道筋をつけていただいた沼津市フェンシング大会への協力など、この夏から例会外の行事・活動も多く予定されています。

休会が多い中ではありましたが、多くの方に新規クラブ入会をいただけたのは大変ありがたいことです。しかしながら、スクール形式、お弁当持帰り、テーブル会の中止などが続き、新規会員が本来のロータリークラブ例会を経験できない、親睦活動が適わない状況を、ここ何年か私がSAAと親睦・出席委員長を担当し心苦しく感じておりました。状況と安全を鑑みながらですが、今年度は休会がないことを強く願っています。

大変微力ではありますが、みなさんにとって楽しく充実した例会を過ごし、行事に参加してよかったと思える様な一年間になる様努めて参ります、是非皆様のご指導を頂きます様よろしくお願いをいたします。